

医療安全通信 第3号-1

【薬局部医療安全委員会】

前立腺肥大症患者への禁忌薬について

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな情報を随時発信いたしますので業務手順書書換えや日常業務にお役立てください。

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の「共有すべき事例」2015年3月分には『前立腺肥大症患者へのPL配合顆粒の処方』についての事例が掲載されています。

http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/pdf/sharing_case_2015_03.pdf

◆ 事例の内容

風邪の症状、発熱のためPL配合顆粒の処方があったが、患者は前立腺肥大症であった。以前に泌尿器医師よりPL配合顆粒は服用不可の指示を受けたことがあることを患者より確認した。処方医師へ疑義照会を行い、PL配合顆粒を削除するとともに、発熱に対してカロナール錠200が追加処方となった。

◆ 背景・要因

診察時に禁忌となる原疾患がないか等の基本的確認を怠ったためと判断した。

◆ 薬局が考えた改善策

診察時に患者背景の確認をしっかりと行う。

◆ 事例のポイント

○薬剤師による患者への聞き取りが重要であることを再認識させられる事例である。

○患者から信頼される薬剤師としてコミュニケーションスキルも大切である。 【原文のまま抜粋】

PL配合顆粒の成分であるプロメタジンメチレンジサリチル酸塩は、抗コリン作用を有し、排尿困難を悪化させるおそれがあるため、前立腺肥大等下部尿路に閉塞性疾患のある患者に禁忌です。前立腺肥大症には、その他にも次頁のような禁忌薬があります。

薬歴やお薬手帳の確認、患者からの聞き取り、新患アンケート等から判明している疾患に禁忌の薬が処方されていたら、疑義照会が必要です。他医療機関で治療中の疾患について患者が処方医に伝えていない場合や、禁忌薬について処方医の認識が低い可能性もありますので、適切な疑義照会を行ってください。

また、先発品には禁忌の認識はあっても、後発品については禁忌のイメージがないこともあります。扱ったことのない薬品名を見たら、必ず成分名、薬効を確認しましょう。

疾患禁忌薬を見逃さないための工夫例です。

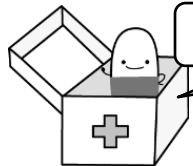
- ★ 薬品棚に「前立腺肥大症禁忌」等の注意喚起のカードやシールを表示する。
- ★ 判明している既往歴をレセコンに登録し、疾患禁忌薬が処方されたら、アラームメッセージを表示、または、他の帳票と共に印刷して、鑑査を行う。
- ★ 鑑査台、投薬台の近くに、疾患禁忌薬の表を設置する。
- ★ 薬歴簿表書きに、『前立腺肥大治療中』等、禁忌薬剤がある患者であることを記載する。
- ★ OTC薬品の棚や商品にも、『前立腺肥大確認！』等のメモをつける。

……………等



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業には、失敗事例や調剤ミスだけではなく、疑義照会により、患者の不利益を薬局で未然に防いだ事例を入力することができます。

医薬分業バッシングの中で、薬局薬剤師の職能を国民に理解してもらうためには、「薬剤師が行なった良い仕事」を収集することが必要です。会員の皆様の薬局での「疑義照会等によって、患者や医師が喜んだ」事例を、ぜひ、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業へ報告してください。



医療安全通信 第3号-2

【薬局部医療安全委員会】

前立腺肥大症患者における禁忌薬一覧（注射薬を除く）

2015年5月20日現在、PMDA医薬品医療機器情報提供ホームページの添付文書情報に基づいて作成した、「禁忌」の項目に前立腺肥大患者に関する記載がある薬品の一覧です。

症状や治療状況によっては、禁忌薬に限らず、慎重投与の薬品についても考慮すべき場合がありますので、薬学的知見に基づいて、疑義照会を行いましょう。

| 分類 | 商品名 | 成分 | |
|--|---|--|----------------------------|
| 抗パーキンソン剤 | パーキン | プロフェナミン塩酸塩/プロフェナミンヒベンズ酸塩散 | |
| | トリモール | ピロヘプチン塩酸塩 | |
| | ベントナ | マザチコール塩酸塩水和物 | |
| 抗うつ剤 | トフラニール、イミドール | イミプラミン塩酸塩 | |
| | アナフラニール | クロミプラミン塩酸塩 | |
| | トリプタノール、ノーマルン、他一般名称GE | アミトリプチリン塩酸塩 | |
| | プロチアデン | ドスレピン塩酸塩 | |
| | ノリトレン | ノルトリプチリン塩酸塩 | |
| | ルジオミール、クロンモリン、マプロミール、他一般名称GE | マプロチリン塩酸塩 | |
| | トレドミン、他一般名称GE | ミルナシプラン塩酸塩 | |
| 総合感冒薬 | ベレックス | クロルフェニラミンマレイン酸塩、他 | |
| | PL、サラザック、セラピナ、トーワチーム、マリキナ、ピーエイ | プロメタジンメチレンジサリチル酸塩、他 | |
| 骨格筋弛緩剤 | ロキシーン | ブリジノールメシル酸塩 | |
| 鎮痙薬 | チアトン、チワン、他一般名称GE | チキジウム臭化物 | |
| | プロ・バンサイン | プロバンテリン臭化物 | |
| | トランコロン、他一般名称GE | メベンゾレート臭化物 | |
| | 硫酸アトロピン | アトロピン硫酸塩水和物 | |
| | ブスコパン、プチプロン、リラダン、他一般名称GE | ブチルスコボラミン臭化物 | |
| | コリオパン | プロロピウム臭化物 | |
| | ダイピン | N-メチルスコボラミンメチル硫酸塩 | |
| | セスデン、コリリック、ゼスン、ソピタム | チメビジウム臭化物水和物 | |
| | ダクテル、ダクチラン | ピペリドレート塩酸塩 | |
| | ロートエキス | ロートエキス | |
| 内用薬 | 鎮量剤 | トラベルミン | |
| | 低血圧治療剤 | リズミック、アメジール、イピノテック、メロック、他一般名称GE | ジフェンヒドラミンサリチル酸塩、ジプロフィリン |
| | | アムジニウムメチル硫酸塩 | |
| | 鎮咳剤 | フスコデ、ライトゲン、ニチコデ、プラコデ、クロフェドリンS、フスコプロン、ミゼロン、ムコプロチン | クロルフェニラミンマレイン酸塩、他 |
| | | アストーマ | クロルフェニラミンマレイン酸塩、他 |
| | | カフコデN | ジフェンヒドラミンサリチル酸塩、他 |
| | | アストフィリン | ジフェンヒドラミン塩酸塩、他 |
| | 消化性潰瘍用剤 | メサフィリン | プロバンテリン臭化物、他 |
| | | エピサネートG | ピベタナート塩酸塩、他 |
| | | コランテル、レスポリックス | ジサイクロミン塩酸塩、他 |
| 鎮痛・健胃剤 | ベルサン | ロートエキス散、他 | |
| 過敏大腸症治療薬 | イリコロンM | ピベタナート塩酸塩、他 | |
| | アレルギー用薬（抗ヒスタミン薬） | レスタミンコーワ、ベナ | ジフェンヒドラミン塩酸塩 |
| | | ベネン | トリプロリジン塩酸塩水和物 |
| | | アリメジン | アリメタジン酒石酸塩 |
| | ヒベルナ、ピレチア | ヒベンズ酸プロメタジン/プロメタジン塩酸塩/プロメタジンメチレンジサリチル酸塩 | |
| | ゼスラン、ニボラジン、アリマン、シークナロン、ヒスポラン、ペナンザール、メキタミン、他一般名称GE | メキタジン | |
| | タベジール、インベスタン、クレマスチン、クレマニル、クレ・ママレット、テルギンG、ニボラジン、ペナンジール、マスレチン、マルスチン | クレマスチンフマル酸塩 | |
| | アレルギン、クロダミン、ネオレスタミンコーワ、ピスマラー、マレイン酸クロルフェニラミン、他一般名称GE | クロルフェニラミンマレイン酸塩 | |
| | ポララミン、アミンギ、ネオマレルミン、マゴチミン、他一般名称GE | α-クロルフェニラミンマレイン酸塩 | |
| | ベリアクチン、他一般名称GE | シプロヘプタジン塩酸塩水和物 | |
| ホモクロミン、バルファード、ヒスタリジン、ベラホルテン、他一般名称GE | ホモクロルシクリジン塩酸塩 | | |
| セレスタミン、エンペラシ、サクコルチン、セレスターナ、ヒスタブロック、プラデスミン、ベタセレミン | α-クロルフェニラミンマレイン酸塩、ベタメタジン | | |
| 外用薬 | 気管支拡張薬（抗コリン） | アトロベント | イبراتロピウム臭化物水和物 |
| | | シーブリ | グリコピロニウム臭化物 |
| | 気管支拡張薬（抗コリン+β 2刺激） | スピリーバ | チオトロピウム臭化物水和物 |
| | | テルシガン | オキシトロピウム臭化物 |
| | | ウルティプロ | グリコピロニウム臭化物、インダカテロールマレイン酸塩 |
| COPD治療配合剤（抗コリン+β 2刺激） | アノーロ | ウメクリジニウム臭化物、ピランテロールトリフェニル酢酸塩 | |